



鹿児島県護憲平和 フォーラム情報



NO—166 2024.8.1

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム Email:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp
連絡先：鹿児島市鴨池新町5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

知事選を振り返る

代表 平井 一臣

去る7月7日に投開票が行われた鹿児島県知事選挙。二人の女性新人候補者が現職知事に挑戦するという構図で行われたが、選挙戦は盛り上がり欠け、投票率は45%を下回った。前回の選挙から5%以上の減である。4年前はコロナ禍のなかで集会も行えない状況のなかでの選挙だったのであるから、今回は前回を上回ってもおかしくなかった。実際、同じ日に実施された東京都知事選挙では60%を超える投票率を記録した。

どうしてここまで投票率が下がったのだろうか？挑戦した二人の候補者の出馬表明が遅く準備が出遅れたことも多少は響いたのかもしれない。また、県立体育館問題、川内原発問題、馬毛島基地問題をめぐって、論戦が具体的なレベルまで展開されなかったことも影響したのかもしれない。

しかし私は、今回の低投票率により大きな影響を与えたのは、政党や労働組合の立ち位置にあったように思う。現職の塩田氏は、前回選挙の草の根型の運動に加え、自民党、公明党による推薦、さらには国民民主党と連合からも推薦を得ることができ、「県民党」的な立ち位置をアピールすることに成功した。立憲民主党は結局方針を打ち出すことができず、社民党は自主投票、共産党は樋之口氏への自主的支援、というカタチで、国政レベルでの野党勢力はバラバラの対応になってしまった。その結果、4月に

行われた衆院補欠選挙や5月の静岡県知事選挙をはじめとする地方選挙で有権者を突き動かした自民党裏金問題に対する怒りは、鹿児島県知事選挙においては行き場を失ってしまったのである。

最近、海外の知人と話をしていて日本の選挙の話題になった。私が国政で対立している与党と野党が、地方選挙では協力することがあると言うと、「不思議だ」「理解できない」という反応が返ってきた。確かにそうだろう。政党は、一定の政治理念のもとに政策を体系化し、それを実現するために競合し合うものである。国レベルの政策と地方レベルの政策は相互に関連し合っている。中央で対立している政党が、なぜ地方では協力できるのか？日本の外から眺めれば、実に不思議な現象に映るのである。

このような中央と地方のねじれは、若者の政治離れを加速させるものでもある。国政では与党を批判しながら、地方選挙では協力をする政党のあり方は、選挙権を得たばかりの若者にとっても理解しがたいものに映るし、有権者をないがしろにする党利党略と見えるだろう。東京都知事選挙での「石丸現象」の背景には、こうしたことも作用したように思う。



第 60 回原水爆禁止鹿児島県民会議 第 16 回鹿児島県護憲平和フォーラム総会開催

6 月 29 日(土)午後「労働金庫鹿児島支店 5 階ホール」で開催（代議員 42 人参加）。初めに原水禁県民会議の総会開催。議長団には本田真知子(鹿教組)・笹井雄一(社青同)両代議員を選出。平井一臣・県原水禁議長は、「先の 5.3 憲法講演会における閉会のあいさつで磨島事務局長が憲法改正について集会の名にふさわしくない挨拶をされたことについてお詫びします。こうした集まりについては集会等の意義について執行部として十分に事前に話し合って対応したい」。原水禁課題としては「川内原発の 20 年延長」が着々と進められており、来週には県や九電に「申し入れ」を予定しています。また 3 号機問題も浮上する状況がみられ、私たちのとりくみが一層求められていることを語られました。



来賓あいさつは大山正一さん(県被爆協・被爆二世の会代表)から県内の被爆者の実態(被爆者数 353 人、平均年齢 87.5 歳)が報告され、「被爆者援護の課題を皆さんと一緒に取り組めたらありがたい、ご協力方を切にお願いいたします」と訴えられました。

議事は 2023 年度活動報告、2024 年度活動方針は全体の拍手で承認されました。(決算及び予算については護憲平和フォーラムの中で承認されました。)

引き続いて「県護憲平和フォーラム」総会は、前段の「県原水禁総会」の役員が引き続き担当。来賓あいさつは県連合・下町和三会長「労働者の賃金は 30 年間で上がらず、その分を企業は貯めこんでいる。岸田政権のいう再生と向上への方向性は見えない。政治を変える闘いを！総選挙へ向けてともに頑張ろう！」、次に上山貞茂県議(県民連合幹事長)は「地方自治法の改正・成立は自治権が奪われること、南西諸島への軍備増強が喧しいが『中国は一つ』を理解しなければならない。県警の問題では『百条委員会』設置を求めていく、これは漏洩ではなく内部通報と理解している。」総会は 2023 年度活動報告、2023 年度財政報告および会計監査報告・剰余金処分(案)が拍手で採択。議事は 2024 年度活動方針(案)、2024 年度予算(案)が提案されいずれも拍手で採択されました。



3 人の方から意見や質問がなされました。①松永三重子さん(アイ女性会議)は「ジェンダー平等社会づくり」に県フォーラムが積極的に関わっていただいていることへの感謝！②関誠之・奄美平和センター議長からは奄美における自衛隊基地の拡大・強化は目に余るものがある。2019 年からは自衛隊と米軍が一体となった合同訓練「キーン・ソード」(鋭利な刃物)が奄美の島々で実施されている。21 年は「オリエント・シールド」(東洋の盾)、23 年はさらに「離島奪還訓練」として喜界島・徳之島でも実施。今年はハイマース訓練(高機動ロケット砲システム)と立て続けに実施されている(与論島のみが実施されていない)。☆関さんは言った。「自衛隊が守るのは『領土・領空・領海』であり、人民ではない」ということだ。③畠田美輝さん(個人会員)は「個人会員」の義務と権利をうたってほしい。—それぞれの発言に平井代表がコメント。執行部への女性を検討、「個人会員」問題は執行部で整理して対応をしたい。執行部に新たに上猶覚さん(退教協始良伊佐ブロック)副代表として選出されました。総会は最後に下馬場学・共同代表の団結ガンバロウ！で閉会となりました。

被爆 79 年 非核平和行進 自治体要請行動 猛暑の中 県内各ブロックで連鎖実施へ

7 月に入りうだるような炎天下に入った鹿児島で、「被爆 79 年 非核・平和行進 自治体要請行動」が、鹿児島県・鹿児島市を皮切りにスタートしました。

鹿児島ブロックは、青年部・女性部による「自転車パレード実行委員会」が主催する鹿児島県庁～商工会議所ビル前までの自転車パレードでの訴えに加え、県被爆者協議会・



県原水禁・鹿児島地区高退協の皆さんの「歩行行進」

で、最終地点の鹿児島市役



所前での集会を開催しました。この後、十島

村・三島村への要請を行い、翌 4 日には日置市・いちき串木野市での首長・議長への要請行動を行いました。

南薩ブロックは、7 月 5 日に指宿市・南九州市・南さつま市・枕崎市へ要請行動を行いました。要請行動は 7 月 5 日(金)ブロック内 4 市、指宿市から枕崎市・南九州市そして南さつま市にかけて「広島・長崎への原爆投下から 79 周年目を迎える」との街宣を行いながら、4 市に対しては首長・議長へ「平和行政に関する要請」内容を具体的に説明しつつ対応して頂いた。



北薩ブロックは、7 月 8 日(月)に、ブロック内の市町の首長と議長に要請をしました。下馬場代表と早崎事務局長、武事務局次長 3 名で、さつま町役場→出水市役所→長島町役場→阿久根市役所→薩摩川内市役所の順に街宣車で回りました。要請文を首長代理に渡し 10～15 分面談をしました。長島町は毎年、町長と議長が対応してくださり、太陽光発電で原発に頼らない政策を行っており、これから風力や潮力発電にも力を入れていくという話をされました。この姿勢をどの市町も倣ってくれるといいのですが。



始良伊佐ブロックは、7 月 9 日（火）霧島市・湧水町・伊佐市、始良市の順に、首長・議長を訪問し、核廃絶・平和行政に関する要請を行ったあと平和行政に対する推進・取組みの理解と点検をしました。伊佐市では県原爆被爆者協議会の西上床会長が、「原爆と人間展」及び学校の授業での講話など、市民に関心を求めやすい体制づくりをお願いしました。核兵器廃絶、被爆者・被爆二世・三世の援護・連帯、脱原発・エネルギー政策転換に向けて、自治体が果たす役割は重要です。今後とも引続き始良伊佐ブロックでは、平和と命の尊さを学習会を通して活動します。



奄美ブロックは、7 月 1 日から 8 日にかけて奄美群島 12 市町村に向けた「平和行政に向けた要請活動」を行った。8 日に訪れた奄美市役所では、関誠之代表がア安田莊平市長に、「子どもたちに核のない未来を残すために」と、自治体としての取組みを要請した。奄美での訪問市町村は 9 自治体。知名・和泊・喜界の 3 町は文書により要請を行った。



＊県内各ブロックで実施した「2024 非核平和行進自治体要請行動」は 7 月 3 日～7 月 26 日にかけて県内自治体への首長・議長への要請行動は全てのブロックで無事終了しました。（未報告のブロックの取組みについては、次号にて掲載します。）

県内で加速する軍事化の動き

☆木原稔防衛相は 7 月 18 日、陸自奄美駐屯地視察後、**馬毛島**を非公式に視察しました。

「米軍 FCLP（空母艦載機離発着訓練）の開始時期は明言せず」と報道される一方で、24 年度中に約 90 人の航空自衛隊馬毛島先遣隊（仮称）配備予定であることが明らかとなった。

☆海上自衛隊鹿屋基地における大型**無人機シーガーディアン**（八戸航空基地に配備のもの）について、海上自衛隊は 7 月末（23～29 日）に試験運用（最終）を実施予定と公表しました。

☆**さつま町「弾薬庫」**の地上測量を 7 月 22 日から実施と九州防衛局が発表しました。中岳周辺（永野、中津川）で整備を検討している火薬庫の適地調査について地上測量調査を始めると。期間は 8 月末までを想定。

「不戦を誓う日の集会」

2024 年 8 月 15 日（木）18 時～

講師：藤本泰成さん（元フォーラム平和・人権・環境代表）

鹿児島市国際交流センター（1F 多目的ホール）鹿児島市加治屋町 19-18 ☎226-5931